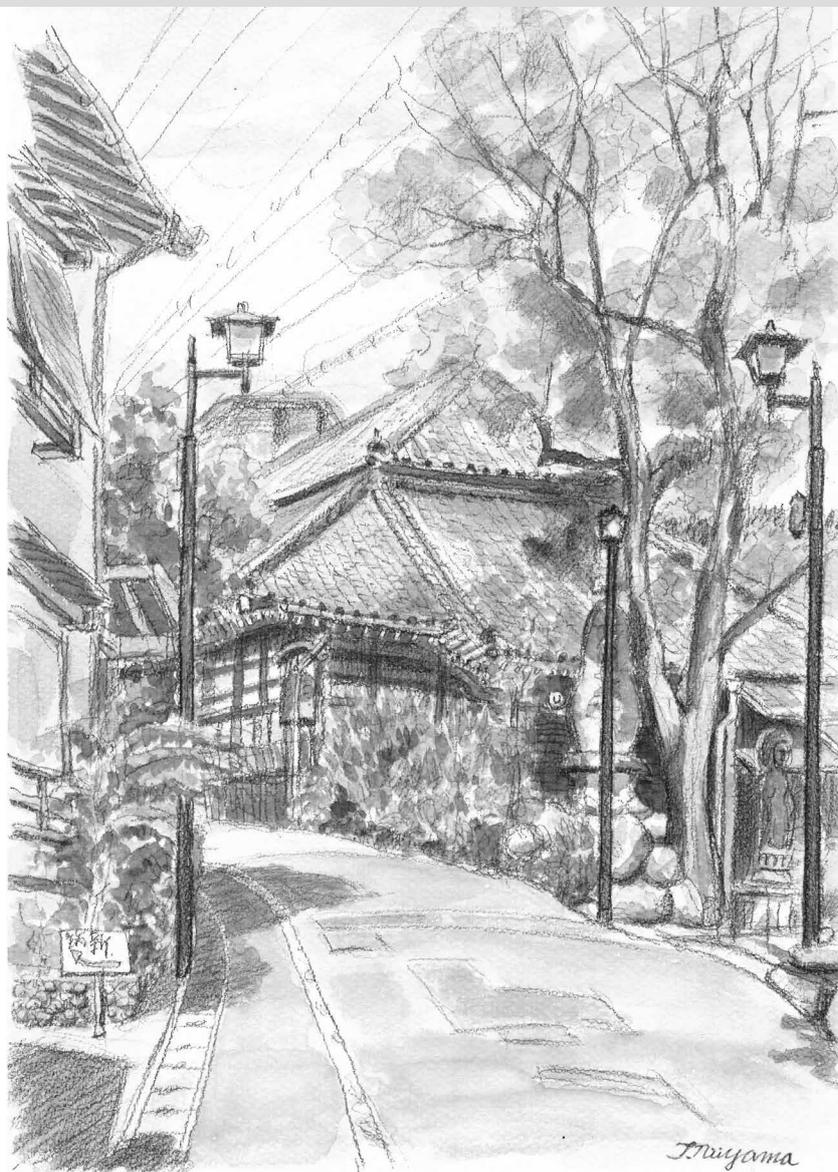


建築士

# おおた

秋季号

2020 NO 125



公益社団法人 大分県建築士会

# CONTENTS

01 新役員挨拶	副 会 長 金只 昌平 専務理事兼事務局長 松崎 和夫
02 公益事業の成果	佐 賀 関 支 部 渡邊 豊基 玖 珠 支 部 尾方 秀則 別 府 支 部 浅野 健治 中 津 支 部 是本 昭善
11 インフォメーション (支部便り)	臼 杵 支 部 佐藤 賢市 宇 佐 支 部 椛田 康一 玖 珠 支 部 白地 泰憲 中 津 支 部 工家 一彦
15 我が街の建築士紹介 (県北)	玖 珠 支 部 藤原 卓也 中 津 支 部 五郡 和莉 宇 佐 支 部 緑川 誠子
16 マイワーク	別 府 支 部 今橋 周作 別 府 支 部 小山 秀輝
18 マイベストブック (県南)	佐 賀 関 支 部 井上 雅順 臼 杵 支 部 藤澤 正治 津 久 見 支 部 金只 昌平
20 我が街紹介	宇 佐 支 部 古市 憲司 玖 珠 支 部 後藤 聖和 別 府 支 部 小山 秀輝 津 久 見 支 部 大村 正壽
27 マーポーの旅先日記	会 長 井上 正文
29 事務局だより	大 分 県 建 築 士 会 事 務 局



## ■ 表紙説明 ■

表紙のイラスト

湯けむり坂

別府支部 新山 俊則

## 新役員挨拶



### 大分県建築士会副会長 金 只 昌 平

今期より副会長に就任した津久見支部所属の金只昌平です。建築士会に入会したのは25年ほど前だと思います。

当時は、他の会に軸足を置いていたので、あまり協力的な会員ではありませんでした。その後、徐々に建築士会に軸足を移すことで、会の意義や楽しさを感じるようになり、津久見支部長を経験し、そろそろ隠居かなと思っていたら、県南ブロック長と副会長の役がまわってきました。

1期目は役員の内容がわからないだろうから副会長は免除ね。今期は2期目でそろそろ解ったでしょうから副会長ね、というわけで仰せつかった次第です。しかし、今もわかったような顔をしているだけで、他の役員の後ろについていくのが精いっぱい副会長です。

どっぷりな建築士会員というわけではありませんでしたが、微力ながら会の発展に貢献できればと思っています。どうぞよろしく願いいたします。



### 専務理事兼事務局長 松 崎 和 夫

本年6月1日付けをもって、事務局長に就任いたしました松崎和夫と申します。どうぞよろしく願い致します。3月末日まで大分市役所に勤務しており、学校や公民館などの設計・監理業務、また、大分市中心部における都市計画事業や住宅密集市街地における住環境整備事業、さらに戸次本町の街づくり等に携わってまいりました。また、建築士会では若い頃に「建築士おおいた」の編集長や海外建築研修旅行の企画も担当させて頂いておりました。

特にこの研修旅行では、FLライトを尋ねてということで、米国東海岸を10日間ほどで巡りましたが、EサーリネンやLカーンの設計した建築物が集積するニューヨーク近郊のイエール大学を訪問した時のエピソードが忘れられません。予め旅行社にお願いして、建物の案内を依頼していたところ、計画・環境系のピエール教授に対応して頂きましたが、教授のご配慮で東京芸大からの留学生を同行していました。それが乾久美子さんでした。当時我々は今の氏の活躍を予測できるはずありませんでしたが、参加者の中にいた故村松幸彦会長が機敏に対応し、当時本県では旧大分県立図書館（現アートプラザ）について保存・解体の論議が白熱しており、米国のイエール大学から保存に賛同するメッセージを大分に向けて発信してほしい旨を乾久美子さんをお願いしたところ快くお引き受けいただき、その声明文が地元のメディアにも大きく取り上げられました。故村松幸彦会長の行動力と保存に向けた強い意志を熱く感じたシーンでもありました。

事務局長に就任して早3か月が経とうとしておりますが、コロナ感染拡大の影響から建築士試験や各種講習会において、様々な感染症対策が義務付けられています。また、令和2年7月豪雨対応として、日田市、由布市、大分市への被災建物の調査や再建相談窓口の設置、熊本球磨地区へのH.M.の派遣（直前に中止）準備など、着任早々、慌ただしく事務局業務を行っているところです。

このような中、支部の会員の皆様からは、会員の高齢化や組織率の低下などでご苦勞されている実情をよく耳にします。全国では一万か所以上ある限界集落が今後消滅する危機にあるとも言われています。国の東京一極集中の是正や地方創生策は根本的な実現には遠く、掛け声倒れの感が否めませんが、何処の自治体も町づくりを担う関係者も喫緊の課題として捉えている状況であると思います。手前みそではありますが、現役を退いてから毎年全国約120地区の重伝建地区を少しずつ訪ねており、町づくり関係者と話す中では、若い世代の移住もみられ、歴史的建築物の空き家をリニューアルして商売をやっているケースもあるということでした。地方都市では移住者に対する支援も手厚くまた、子育て支援も充実しており、商品の販売はネットでできるので、多少場所が不便でも住環境、子育て環境の適した地方を選択しているということも述べていました。ここら辺りに地域活性化に繋がる一つのヒントがあるのかもしれない。

事務局では現在、WiFi環境も整え会員の皆様が気軽に足を運べる場に、そして様々な課題に柔軟に対応できるようワンチーム体制で取り組んでいきたいと考えております。皆様方のご協力を頂きながら事務局長としての責務を果たしていく所存です。ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

# 令和2年度 公益事業の成果

佐賀関支部

佐賀関支部 渡邊 豊基

## 「幕末の志士が往還した伊予街道の保全活動について」

県内でのコロナ禍が落ち着いたことから、今年度初の活動を6月から開始しました。

本活動は、平成27年の公益事業から端を発しており、ボランティアガイド協会とコラボしての活動としました。

ここで、幕末における佐賀関での志士たちの行動について、おさらいしておきます。

幕末の志士である坂本龍馬と勝海舟等が1864年に長崎丸にて佐賀関に来たことが、平成6年に当時の徳応寺住職の日記「日本人物史」の発見によりその史実が判明しました。



当時、軍艦奉行だった勝海舟は、幕府の命を受け「英仏欄米」の連合艦隊による長州藩報復を阻止するための交渉を、長崎で行うため、塾生である坂本龍馬等も一緒に連れており、その旅の途中で佐賀関を訪れました。

佐賀関を訪れた理由を推察しますと、船での長崎までの航路は、関門海峡を通過せざるを得なく、当時、長州藩と諸外国が戦争していたため、関門海峡を通過する船は、ことごとく長州からの攻撃を受けていたことからこれを回避することと、龍馬を熊本に幽閉されていた開国論者の横井小楠に合わせるためだと云われています。

また、長崎ではトーマス・グラバーに面会しておりその後に「亀山社中」を設立したようです。

なお、佐賀関から長崎までの徒歩による旅の行程期間としては、往きに8日間、還りは7日間で往復しており、その際に伊予街道を往還したようです。

さて、現在の伊予街道の状況としては、通行人は無く、草が生い茂り強風や枯れによる倒木、がけ崩れ等により通行が困難な箇所が放置されています。

そこで、本支部とボラガイド協会のコラボによる街道の保全活動を実施することになりました。



当日は、支部会員4名、ボラガイド関係者16名が参加し、2チームに分かれての作業分担としました。本会は、篠生峠を担当することとなり、チェーンソー、草刈機等を持参して山中の街道に分け入ることとしました。



篠生峠までの街道は、幅員が約3mあり山腹をなだらかに登坂しています。チェーンソー担当を先頭に倒木の伐採、その後に伐採木と枯れ木の除却班、草刈班が街道を保全していきます。



途中、がけ崩れにより通行不能な区間もあり迂回路を伐開し、堀切部は降雨による路面掘削した箇所を修復しながら、篠生峠までの約1kmを保全しました。

復路は、道路面に降り積もった枯葉を除却しながら、街道の歴史についてボラガイドの後藤氏から様々な話を聞くことが出来ました。



佐賀関で合戦があった際、中川家の部隊がこの街道の山中に陣を張ったことや、江戸時代の参勤交代時の大名行列が、苦慮して通行していたことから、鶴崎の三佐から船で佐賀関や大阪に渡航したこと。さらには、有名な方が通行した際、お茶屋もなく劣悪な街道であったことを史実書に残したこと。などなど…

私の感想としては「佐賀関は昔から陸の孤島だったので、海上交通が盛んになり龍馬らが長崎丸で佐賀関にやってきて、だれもが敬遠するこの険しい街道を通行して隠密な旅をしたのだろう」と、感慨を深くしました。

活動が終わり、全員集合してのミーティングでは、次回の保全ポイントの確認と、秋には県内の子どもたちに、伊予街道のガイドを実施することが協議されました。

その際には、建築士会の皆様にも周知いたしますので、参加のほどよろしくお願ひします。



玖珠支部 尾方秀則

### 旧豊後森機関庫躯体劣化調査について



#### 【経緯】

旧豊後森機関庫は九州で唯一現存する扇型機関庫で、日本遺産にも認定されています。現在でこそ玖珠町の貴重な観光資源となっていますが、昭和末期には老朽化等を理由に解体の危機に直面していました。この危機を救おうと解体に反対する住民運動が興り、平成13年には全国から当時の町の人口を超える2.2万人の署名が寄せられ、平成19年に玖珠町が買い取る形で解体の危機は免れました。次に問題となったのがこの貴重な資産をどう保存・活用していくかということです。まずは現時点での劣化状況を確認するために、平成21年に建築士会を中心に全面的な劣化調査、コンクリート強度の調査などを行い図面化や改修費用を算定し、玖珠町や住民に対して報告会を実施しました。



平成23年には、この調査結果を受け、躯体の劣化を防ぐための屋上防水改修工事を玖珠町が実施しました。その後、機関庫周辺は公園化され、敷地の草刈りや併設されたミニ列車の運行、静態展示されているSLの清掃活動等は、まさに地域コミュニティ活動のプラットフォームとなっています。





別府支部 浅野 健治

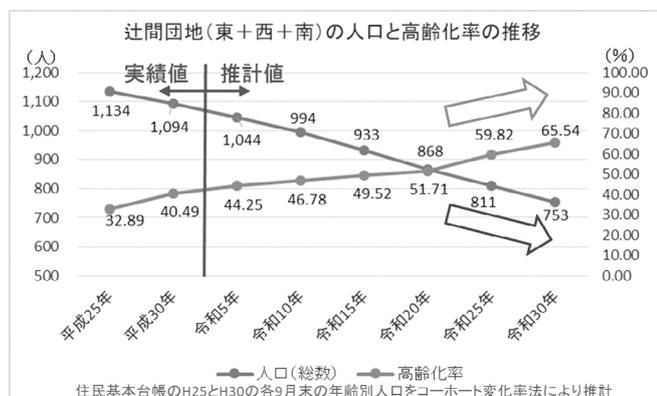
### 「辻間団地の未来のための7つの提案」

日出町辻間団地は昭和40年代後半から50年代前半に開発された日出町の人口増加の受け皿となった大規模団地であるが、時代の流れとともに高齢化が進み、スーパーがなくなるなど状況が変化し、また、近年の車社会の進展に伴う一家に複数の車を所有するなど、生活スタイルの変化も見られています。そこで、辻間団地が将来にわたり良好な住宅地となるように、現状の調査や、住民との意見交換等を行い、辻間団地の将来のために提案を取りまとめました。

#### ◇人口などの将来推計

下図は辻間団地の人口と高齢化率の推計結果ですが、約30年後には人口が現在の約7割程度へ減少し、高齢化率が約65%と3人に2人は65歳以上の高齢者となる予測となっています。

辻間団地の人口と高齢化率の推計結果



#### ◇現地調査

令和元年12月7日に別府支部会員7名で現地調査を実施しました。事前に調査範囲、方法を確認し、団地内を歩きながら、いいところや課題と思うところを地図に記入し、写真を撮りながら調査しました。

道路が狭いことや、空き家や空き地が増えてきていること、スーパーがなくなったことなど課題が見られる一方、南向きの斜面地で別府湾へ広がる素晴らしい景観があることや地区内や周辺の公園や豊かな自然環境など多くの魅力もあることが

わかりました。



現地調査の様子



別府湾を臨む良好な景観

#### ◇住民との意見交換会

令和2年2月9日に地元住民約20名の参加をいただき、辻間団地集会所において意見交換会を実施しました。

今回の取り組みの趣旨や辻間団地の将来の人口の予測、現地調査の結果を別府支部から説明し、その後住民の皆様から辻間団地の現状や問題点など様々なご意見をいただきました。

住民の皆様も住環境として様々な課題があることや将来に対する懸念を感じていること、また、団地内の様々な魅力についてもご意見をいただきました。



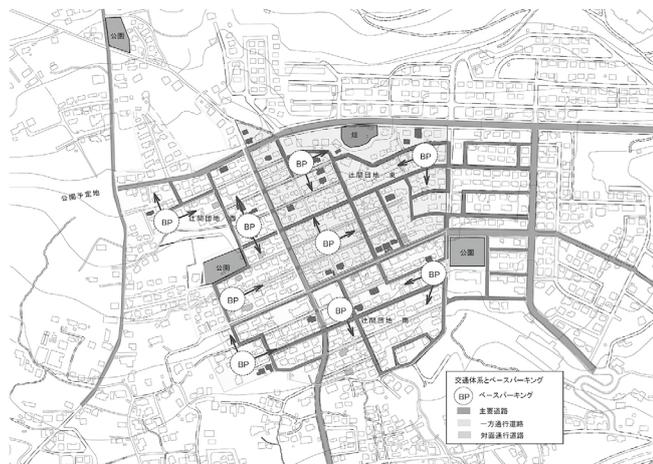


意見交換会の様子

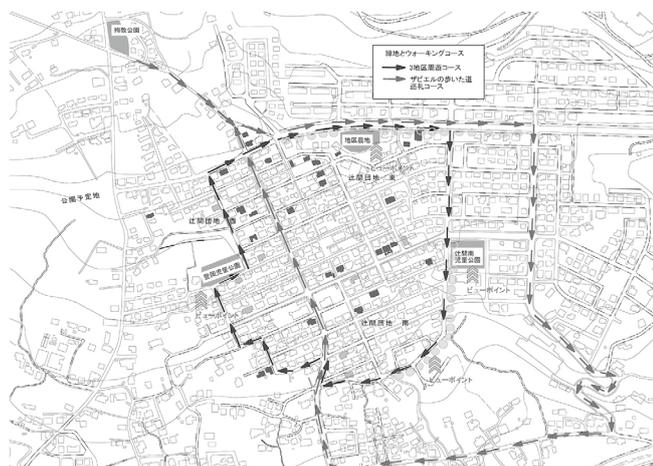
### ◇7つの提案

調査結果や意見交換会での意見等により、課題といいいところを整理したうえで、最終的に7つの提案として取りまとめました。

- 提案① 安心して通行できる道路交通ルールづくり
- 提案② 集約駐車場（ベースパーキング）の確保



### 提案③ 良好な景観を活かした魅力づくり



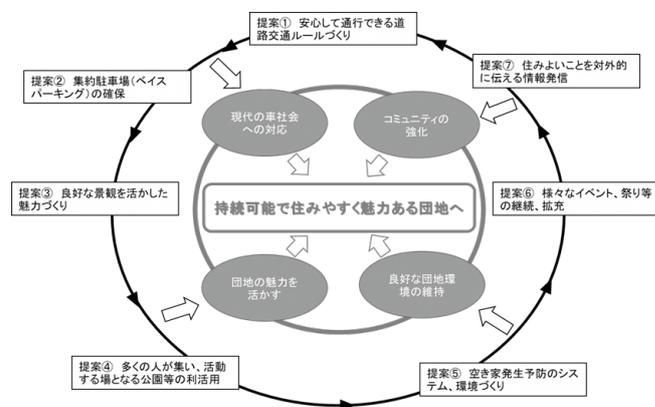
提案④ 多くの人が集い、活動する場となる公園等の利活用

提案⑤ 空き家発生予防のシステム、環境づくり

提案⑥ 様々なイベント、祭り等の継続、拡充

提案⑦ 住みよいことを対外的に伝える情報発信

この7つの提案により、「現代の車社会への対応」「団地の魅力を活かす」「良好な団地環境の維持」「コミュニティの強化」へと繋がり、最終的に持続可能で住みやすく魅力ある団地になっていくことを期待しています。また、提案相互も単独でなく、連携した取り組みによりさらに相乗効果も期待できると思われるので、有機的に活動を繋げていくことが必要と考えています。



取りまとめた提案書については、地元の役員へ提出し、内容について大変興味を持っていただきました。今後も生活圏に即した調査領域を考慮しながら、活動を継続していきたいと考えています。



中津支部 是 本 昭 善

### 中津市内小学生を対象とした「まちなみ歴史探検」の事業について

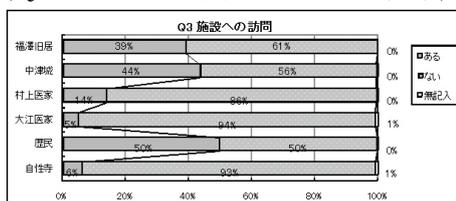
毎年恒例となっている市内23小学校の6年生及び教職員を対象に行われる総合学習の一環「まちなみ歴史探検」という事業があります。支部会員の皆さんが毎年参加しており、私も令和元年11月21日「如水小学校」と12月6日「大幡小学校」を担当しまして、両日ともに穏やかな天候の下で旧城下町を歩いて歴史探検に同行をしました。小学生への説明には役割分担箇所がありまして、中津市担当課職員と地元の観光ボランティアガイドと一緒に同行し中津の歴史・文化について児童へ説明します。

(黄色着がボランティアガイド↓茶褐色法被が士会員)



第1回目の開催は平成22年に始まり、10年間継続した事業です。目的について当時の企画書によると『本市には、郷土の歴史や文化に培われてきた誇れる歴史・文化的資源があります。特に、本市の南部、北部校区には、福沢旧居や中津城など中津市を代表する史跡・名所が多く残っています。しかし、そうした「なかつのあゆみ」を知ることのできる文化施設等に行ったことがないという児童の実態が、市が実施したアンケート調査により明らかになりました。

(Q.施設への訪問↓アンケート結果)



この結果から、歴史・文化施設に行ったことのない児童が50%以上を超えており、学校教育施設の中で何らかの対応を検討し、我が町を誇れる児童の育成を図る必要があります。そこで市内小学6年生を対象に、学校の教育活動として取組む「歴史・文化的施設の見学と寺町・諸町等のまち歩き」を提案します。』という内容の企画が立てられ、本事業を通じて、児童の旧城下町の歴史・文化の理解を深め、郷土を愛し誇りをもつ力を育むことにより、中心市街地の活性化にも寄与するものと考え、中津市の歴史や文化をもっと知ってもらうため、市内小学6年生を対象に総合学習の一環として歴史・文化的施設の見学とまち歩きが実施される経緯と運びに至りました。

なお「まちなみ歴史探検」という事業名で、実施主体は中津市（NPO法人中津まちなみ会への委託事業）となります。「NPO法人中津まちなみ会」という非営利活動法人は、建築士会中津支部の全会員の総意で立ち上げた下部組織であり、歴史探検の事業委託に先駆けて、平成18年度より毎年市民向けに「史跡と浪漫を探訪するまちなみ散策」を自主事業として実施しており、

(初回↓平成18年「歴史と浪漫を探訪する旧街道散策」歴史を語る会の先生方の案内で約2時間 市内を散策)



その事業が4年経過した後に、中津市より『専門的な知識に基づく年代ごとの建築様式の変遷だけに留まらず、中津城下のまちなみの成り立ちをはじめ、広く郷土の歴史について後世に伝える役割を果たしている。』との評価を得て、本事業の「まちなみ歴史探検」の企画立案、郷土の歴史や

まちなみ、建物等の案内に加え、行政が担う業務の一部をNPOとの協働型委託事業とすることで、本事業のスタートとなりました。

主な実施内容は、市内の歴史・文化的施設、街並みを観光ボランティアガイド、NPO法人中津まちなみ会の案内によりルートを探ります。訪問先は福澤記念館、中津城、大江医家史料館（又は村上医家史料館）の3か所を必須とし、その他の施設（和傘工房朱夏、木村記念館、自性寺(大雅堂)、歴史民俗資料館、他）は、学校毎に選択して決定します。探検ルート及び所要時間は、中津駅を起点・終点とした3～6時間程度のまち歩きとし、学校別にルートを決めます。一部の小学校は各学校よりスタートします。班構成はボランティアガイドの人数や施設の状況を考慮し、20名程度の班構成とします。なお班毎にボランティアガイド1名を配置します。（↓集合時の様子）



（私たちが班旗を持って↓コースを先導して巡ります）



小学生への説明には役割分担のポイントがありまして、私たちが担当するのは、例えば駅北地区のエリアは、江戸時代にハス畑（れんこん畑）だったと言われており、今では、江戸時代城下町だった歴史から、駅の北側の道路整備の工事にあわせて、新しく建てる建物を和風にし、城下町を感じられるまちづくりの取組を行って、城下町の歴史を感じる建物や歴史があり、瓦屋根に、しっくい白壁、板塀、格子と言われる窓の目隠しを設

けることなどが特長といった説明をします。また豊後街道エリアでは、豊後の国と呼ばれた所以をクイズにして、大分市の方から中津の城下町に続く道だと、方角を指し説明をすると児童は納得して真面目にメモを取り、続け様に今度は中津城へ攻め込む敵の兵になってみて、この道辻で何か気づいたことは無いかな？とクイズを出すと、お城は直線状には見えず、道が折れていることから、この仕掛けが鍵の手（食違）と言われ、お城に向かい勢いよく攻めてきた敵のスピードを落とす工夫がされていると説明をすると、すごく興味を示し辺りを見て納得します。↓



それから、江戸、明治、大正時代の建物のある村上医家史料館周辺では、通りには江戸時代から続く建物が残っているため、時代により建物の特長が違い、形によりそれを見分けることができるが、どの部分か？と問い、江戸時代は2階が低く、町を治めるお殿様を上から見下ろしてはいけなことを説明し、次に後ろを振り返って、2階の高さが少高いものが明治時代に建てられたもので、お殿様が町を治める時代が終わり、二階に窓をつけることもできるようになり、大正時代は建築の技術も高まり、更に2階の高さが高い建物が



できたと、時代により家を見分けることができる方法を説明します。すると、児童たちも周囲の建物を見渡して、どの時代の建物に興味津々の様子でした。村上医家史料館の他にも諸町エリアでは、町名の由来をクイズにしたり、享保元年（1716年）創業の中津市で最も歴史の古い醤油屋「むろや醤油」では、↓外壁に馬繋ぎの環金具があり関心を抱いてました。



さらに、諸町を代表する江戸時代の後期に建てられた元商屋で町屋形式の伝統的建造物「南部まちなみ交流館」は、平成26年に中津市の文化財として保存・整備した建物で、中津まちなみ会が集会所改修提案をし建物調査から行って、梁に「文化十二年子八月」（1815年）と築年を示す墨書きを見つけたものを見ることができます。

また福沢旧居では、福澤諭吉が青年時代を過ごした江戸時代の後期（1803年）に建てられた建物の茅葺屋根を指して、当時の主流だったことなどを説明します。



あとは、中津城に近い南部小学校にある生田門（中津城主奥平家の家来の生田家の門）という江戸時代を代表する貴重な門があり、使われている材料に現在は高価なケヤキ材がどの部分に使用されているかを説明します。



主な説明ポイントは以上ですが、観光ボランティアガイドの説明を私たちも児童と一緒に聞きながらコースを廻れたり、黒田官兵衛が築いた九州最古の近世城郭の石垣が鑑賞できる中津市歴史博物館が昨年11月1日にオープンしたので一早く児童の皆さんと見学も出来ました。この事業に参加することは私の様な若い世代（43歳…汗）も郷土の歴史や文化や偉人たちの偉業を学ぶ貴重な機会であり、士会員として地域社会に貢献出来る事にとっても有意義であると感じています。（私も初回から参加させてもらっています。↓10年前の私は息子の母校を担当）



先輩方が長年あゆんでこられた中津支部の活動の報告は、大分県建築士会中津支部の自作HPに過去の記事として内容と共に沢山の写真で紹介していますので、他支部の会員皆様にもご閲覧していただけたらと思います。拙い文章で恐縮ですが、ご一読いただき有難うございました。

建築士会中津

検索





## 7月1日は建築士の日

臼杵支部 佐藤賢市

臼杵支部の恒例行事? 「7月1日は建築士の日」  
ということで、今年も上臼杵駅舎内に臼杵支部会員  
による啓蒙活動、パネル展示を行いました。



大分県内の高校生も電車通学が多くなってきま  
した。駅舎内で足を止め熱心にパネルを見ている姿が  
頼もしくあります。



これから職業を選択する若者たちが、「ユー  
チューバー」より建築建設業界に興味を持って頂き  
たいものです。



さて、私は現在某体育館の改修工事を行っていま  
す。地盤沈下により建物が下がっているのでいわゆる  
「沈下修正工事」ですが、地盤補強と曳家工事を  
合わせたような工法を採用しています。



毎日が新しい事にチャレンジです!



## 活動報告

宇佐支部 支部長 梶田 康一

宇佐支部の平成30年度～令和元年にかけての活動報告を行います。

宇佐支部は、別府支部との共同事業として『宇佐海軍航空隊』を、別府支部は『大神回天訓練基地』の立体地図復元模型をそれぞれ制作しました。

模型を作成するにあたり、各々の景観を比較しやすいように同縮尺での制作としました。また基地の全体像をつかめるよう、付属物としての戦艦や航空機も添景として加え、当時の基地の様子を分かる範囲で再現しました。

この模型については令和元年の宇佐・別府及び本部の各総会及び11月に行われた「ひじ産業まつり」にて展示を行いました。

### 1. 資料収集

宇佐市教育委員会社会教育課 平和ミュージアム 建設準備室に当事業の説明を行い、下記のような資料の提供と協力をお願いをしました。

- ・制作内容説明、活動趣旨、模型製作の意義
- ・全体の大きさ、施設建物、エプロン、駐車場
- ・誘導路（排水施設も含む）、滑走路、飛行機
- ・周辺状況（掩体壕も含む）

### 2. 配置図

昭和20年（1945年）3月18日米空母「ヨークタウン」艦載機F6Fによるガンカメラ映像を基に宇佐海軍航空隊の各庁舎群をブロックに区分けして1/700に拡大しました。

CADにてその写真のトレースを行い、建物の輪郭、道路、構造物を作図し1/700の配置図を作成しました。



### 3. 建物立面図

ガンカメラの航空写真の影の長さやその他の写真資料を基に、それぞれの建物68棟の立面図を作成しました。

配置図、立面図はCADデータ化し、立面図に於いては着色を施し、模型製作に使用しました。



### 4. 模型全体の地盤

配置図から、建物施設、駐機場、エプロン、誘導路、滑走路を色分けし、台紙に貼り付けて敷地全体の地盤を制作しました。

### 5. 建物、構造物、飛行機、添景

立面図、配置を基にスチレンボードをカットして、個々の建物の形を制作しました。

着色プリントした立面図、屋根伏図をカットして、スチレンボードの建物に貼り付けて個々の建物を仕上げていきました。

また、1/700の飛行機の模型も宇佐海軍年表（参考文献：宇佐航空隊の世界V）を基に、当時配備された機種、台数を制作しました。

## 6. 仕上げ

基地全体の敷地に建物、構造物、飛行機、添景そして周囲の堀をセットして完成しました。



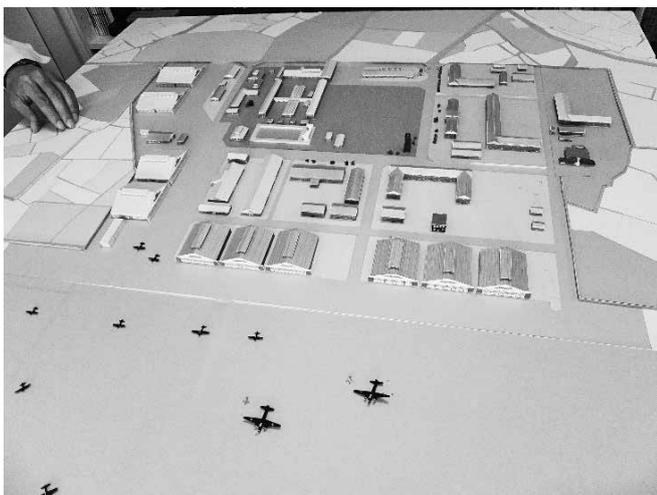
## 7. まとめ

様々な写真や地図等の資料を読み取り、図面化し、立体的に表現できることは、私達建築士としての得意分野の一つでもあると思います。

今回の模型作成によって、当時の『宇佐海軍航空隊』の様子を再現することが出来ました。

この模型を利用することで、多くの方々に当時の雰囲気をわかりやすく説明が出来るようになったと思います。

さらに、戦争遺構の保存活用の際に、この模型を有効活用し『宇佐海軍航空隊』を広く周知することで、今後の『まちづくり提案』に役立つことを願っています。





### 支部長挨拶

玖珠支部 支部長 白地 泰 憲

今期より玖珠支部長を務めさせていただくことになりました。

今年で満60歳の還暦となり支部長職がとうとう巡ってきました。

当建築士会に入会当時は重鎮の先輩が多数在籍されているいろいろな面でご指導をいただき今日に至りました。途中士会活動を休眠した年もありましたが昨年度まで編集委員と防災委員として支部の活動に携わらせていただき、いろいろな経験と人脈とを得られました。

先日、熊本地震の際に応急危険度判定で現地に入った南阿蘇村の担当地域を訪れました。道路のひび割れは新しく舗装され被害家屋は解体や修繕が行われて人々の暮らしが復興しているように映りました。

当地域も7月の豪雨災で多数の家屋が床上浸水などの被害を受けました。この災害からの復興も建築士会として地域に関わり人々の暮らしの手助けが出来たらと思います。

建築業界を取巻く環境は日々変化し厳しさを増していますが微力ながら皆様のご協力の元に精一杯務めさせていただきます。

また、会員のための士会として模索していきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。



### 支部長挨拶

中津支部 支部長 工 家 一 彦

この度、6月の中津支部通常総会に於いて新支部長に選任されました工家一彦と申します。どうぞ宜しくお願い致します。



2年の任期のなかで歴代の支部長が築き上げられてきた「支部の絆」を継承し、自分の出来ることを精一杯活動していきたいと思えます。

さて今般の新型コロナウイルス感染拡大では、会員の皆様をはじめ多くの方たちが、その影響を受け行動を制限されている状況です。このような環境のもと状況を注視しつつ、建築士会会員として出来ることを模索していく必要があります。また、建築士としての資質の向上に務め、公益社団法人の一員として行政支援、市民を巻き込んだ社会貢献を通して、地域に根ざした支部活動に積極的に取り組んでいきたいと思えます。

以上、このようなときに、支部長の大役を引き受ける責任の重大さを考えると、誠に身の引き締まる思いではありますが、会員皆様方からのご支援、ご協力を得られますように努めて参ります。どうぞ宜しくお願いいたします。



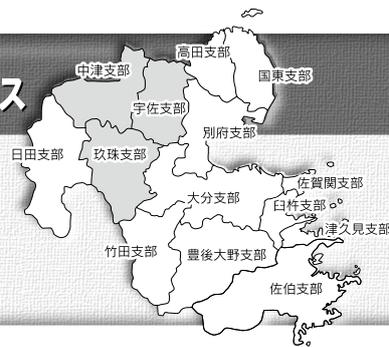


# PERSONAL INFLUENCE パーソナルインフルエンス

個人が他人に及ぼす影響力

## 我が街の建築士紹介

(掲載については順不同です)



- ★氏名 藤原 卓也
- ★生年月日 平成2年6月1日
- ★勤務先 サンホーム有限会社
- ★趣味 洋ドラマ、映画鑑賞
- ★将来の夢、モットー等

サンホーム有限会社の藤原卓也と申します。

前職では茨城県のプレカット工場に勤めていたのですが4年前に地元へUターンで戻ってきました。木造を専門に扱っていましたが木造住宅というものは奥が深く勉強することが多いです。この度、建築士会に入会させていただきますが会の活動に参加し、日々の生活や仕事に生かせるようにしたいと思います。

分からないことが多くまだまだ力不足ではありますがこれからさらに勉強をして一人前の建築士になれるように頑張りますのでよろしくお願い致します。



藤原 卓也 (玖珠支部)

- ★氏名 五郡 和莉
- ★将来の夢、モットー等

株式会社M・ZECの五郡和莉と申します。主に設計業務に加え、現場監督をしております。

昨年、一級建築士に合格したことを期に建築士会に入会致しました。

まだまだ経験も浅く、分からないことだらけで、建築という仕事に足を踏み入れた段階ですが、建築士として活躍できるように頑張ってお参ります。そして、先輩方皆様との交流を通して様々なことを経験し、学んでいきたいと思っております。

若輩者ではありますが、これからよろしくお願い致します。



五郡 和莉 (中津支部)

- ★氏名 緑川 誠子
- ★生年月日 昭和61年生まれ
- ★勤務先 大分県中津土木事務所
- ★趣味 無趣味
- ★将来の夢、モットー等

大分県中津土木事務所の緑川と申します。元上司の熱心な勧めを受け、この度、宇佐支部に入会致しました。

この4月から県北地域(中津・宇佐・豊後高田市)を管轄する現在の職場に赴任し、同じ県内ではありますが、生まれ育った地域とは異なる町並み、風景、人柄…等に日々驚かされ、楽しく過ごしています。

建築士会の活動を通じて、建築士としての知識をより深めて行けたらと思いますので、よろしくお願い致します。



緑川 誠子 (宇佐支部)

# MY WORK

- ★建物名称 海地獄売店
- ★建築場所 別府市
- ★用途 店舗
- ★床面積 1443.54㎡
- ★構造 鉄骨造2階建
- ★設計者 周設計工房
- ★施工者 長幸建設 株式会社

## ★設計趣旨

既存売店の老朽化による建て替え。  
1階は売店。  
2階は、海地獄の歴史等を伝える展示室に外周に海地獄や庭園を一望できる外回廊を設けた。



海地獄と庭園



1階 売店



外 観



2階 展示室

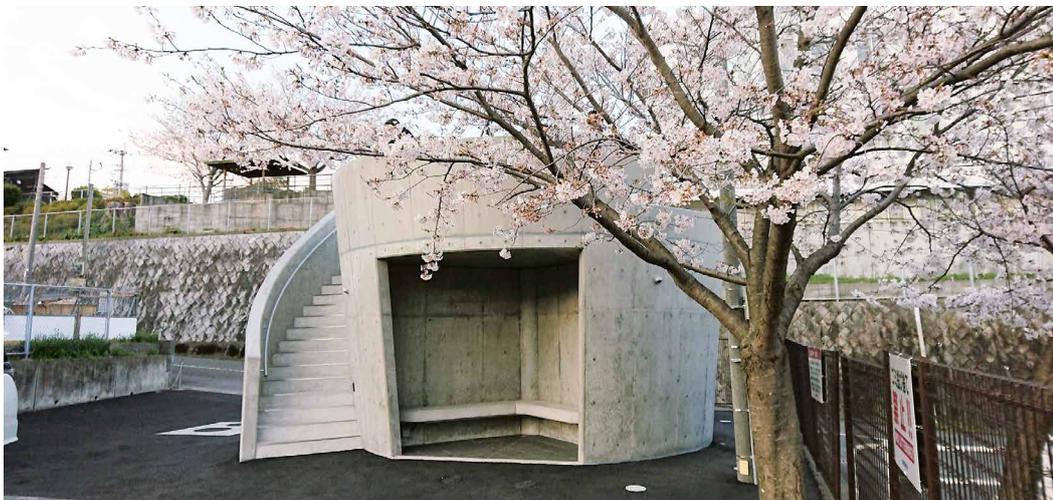
# MY WORK

- ★建物名称 別府湯けむり展望台公衆便所
- ★建築場所 大分県別府市鉄輪東8組
- ★用途 公衆便所
- ★床面積 21.79㎡
- ★構造 RC造平屋建
- ★設計者 別府市建設部施設整備課第2係
- ★施工者 (株)三慶建設
- ★設計趣旨

外観は、別府湯けむりを連想させる逆円錐の形状とし、パラペットの高さを変えることで角度によって異なる形状に見せ、湯けむりの不整形さを表現した。別府の湯けむりは、平成13年3月にNHKが募集した「21世紀に残したい日本の風景」で富士山に次いで全国第2位に選ばれ、展望台からの夜景は平成22年7月に「日本夜景遺産」に認定されており、新しいビュースポットとして屋上からの景色が楽しめるよう展望台としての用途を持たせ、以前と異なる視点から別府市の一面を見ることのできるものとした。

不整形な建物を打放しで仕上げるといった非常に難易度の高い施工を要求する設計であったが、施工者の経験と工夫をもって美しい仕上がりとなった。

内観は、コンクリート打放しとタイルという2つの素材で仕上げ、解体した別府市市民会館別館で使用されていたガラスブロックを再利用し壁面及び床面に埋め込み間接照明として使用している。一般的な公衆便所のイメージを覆し、モダンで上質な空間となるよう計画した。





# BOOK My Best Book

マイベストブック

『父が娘に語る 美しく、深く、壮大で、とんでもなくわかりやすい経済の話』

著：ヤニス・バルファキス 元ギリシャ財務大臣  
津久見支部 金 只 昌 平

経済という言葉を受けない日はありません。経済とは？何となく手にした本です。

著者である父が、オーストラリアに住む娘に教えるという物語風に仕立てています。私のような経済無知（無知は経済だけではなく）な人間には、わかりやすいものでした。

私の娘が、そのタイトルを見て「私に経済を教えるつもり？」違います（笑）。

かつてイギリスは、オーストラリア先住民のアボリジニを征服したが、なぜ逆はなかったのか？

グローバルな格差や地域社会の格差といった貧富の格差がなぜあるのか？と話が始まります。

農作物の生産をし「余剰」が生まれた時から格差が始まり、有力者が領土を拡大し、軍隊を持った権力者となっていく。世界史で習った事象がなぜ起き、ヨーロッパで巨大な帝国が生まれたのかと展開していく。テクノロジーの発達した現在の「余剰」はもちろんおカネです。

支配者たちはどうやって自分たちにいいように「余剰」を手に入れ、庶民に反乱を起こさせずに権力を維持してきたのか。

その為には、支配者だけが国を支配する権利を持っていると、庶民に固く信じさせればいい。

支配を正当化するイデオロギーを植え付けるため、古くからは宗教、現代はマスメディアが使われる。誰もが経済について意見を言えることが真の民主主義の前提であると言う。

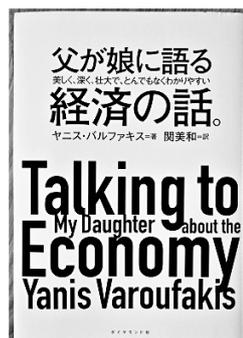
興味深かったのは現代のおカネの話です。誰かが銀行に借金をして、銀行が通帳にカチャカチャと書き込めば、『どこからともなく』おカネが生まれる。

そういえば、コロナ禍の10万円給付金は、国が借金することで『どこからともなく』

いとも簡単に生まれた。これが現代社会のおカネの実態のようです。

最後は人類から地球環境を守っていくための経済とは、という話で締めていく。

経験的に何となくわかったような気になっていた人類社会の成り立ちやしくみを改めて確認できました。私は格差の小さな社会を望みます。必要以上に集まった「余剰」を再配分するのが優れた権力者の姿だと思います。



# 我が街紹介

## ～宇佐市平和ミュージアム構想近況報告～

宇佐支部 古市 憲司

「宇佐市平和ミュージアム構想」は、資料館（モノを保存・展示）と戦争遺構群で構成し、戦争の歴史を明らかにするとともに点在する遺構、現存する建物、体験者の証明などをもとに戦争の歴史を伝え「平和の大切さと命の尊さ」にふれる機会の創出を目指しています。

それと同時に、この宇佐平野の普遍的な景観の保存も合わせていくべきと考えています。

周防灘に面した広大なこの平野は、飛行場に適した立地で、右岸に流れる駅館川、背景にそびえる御許山、西側の八面山は、将来に残し伝えたい風景ですし、当時の航空隊の搭乗員達の目にも焼き付いた景色だったと思います。

この「宇佐市平和ミュージアム構想」は、すばらしい宇佐平野の背景と一緒に、今後も宇佐市の貴重な文化財として保存活用していければと思います。

（文・写真：宇佐支部作成報告書「戦争遺構と景観」より抜粋）

### <城井1号掩体壕>



（御許山を背景に）

### <爆弾池と展望台>



（御許山を背景に）

### <落下傘整備場>



### <耐弾式コンクリート造建物>



# 我が街紹介

玖珠支部 後藤 聖和

玖珠町は、多数の巨大な溶岩のテーブル状の台地（メサ）が盆地を取り囲む特徴的な景観のある町です。今日はその中から玖珠町のシンボルである伐株山とその山を拠点とする若者達の取組みをご紹介します。

街の中心部から南側を望むと、ひときわ目を惹くテーブル状の山が伐株山です。



この山はメサのなかでも浸食がさらに進んで頂部が狭くなり孤立丘となったビュートと呼ばれる地形を呈しています。山頂までは車で直接アクセスできることから、ハングライダーやパラグライダーの基地となっており年間を通じて、気持ちよさそうに大空を舞っています。

また、「アルプスの少女ハイジ」のオープニングに出てくる様な背の高いブランコが設置されており、子どもはもちろんのこと大人も童心に帰ることができます。

頂上からは玖珠盆地の麓が一望でき、田植え前の水面に夕日が映える景色はまさに圧巻です。



最近この眺望を活かし、山頂から町を見渡せる位置に、空に向かって漕ぎ出すブランコ、通称「キリカブランコ」を設置したいと、町内外の若者有志による、プロジェクト「キリカブランコつくって！委員会」が立ち上がりました。新設するブランコは資金から運営管理まで、賛同者からなる会員（絶賛募集中!!）で行なう事としており、行政に頼るのではなく自分達の力だけで町を盛り上げ、町民が誇れるものを創ろうと活動しています。



山頂一帯が、中世の山城であったため、文化財保護等の規制もありますが、自分達の手で出来ることからはじめようと、持ち運び可能なブランコを定期的に持ち込み、訪れた方たちに開放し実績を積み重ねています。

興味のある方は「キリカブランコ」で検索！その手で一緒にワクワクを作り出してみませんか？



# 我が街紹介

## 別府支部 小山 秀輝

別府市は言わずと知れた温泉の街であり、泉源数、湧出量ともに断トツの日本一を誇るまさに泉都を自負する街です。温泉は市内8カ所を中心に湧き、それぞれ泉質や地域によって個性が異なり、別府八湯と称されています。その温泉資源を礎に発展し年間900万人を超える観光客が訪れる別府市ですが、今回はあえて「温泉だけではない別府」を紹介したいと思います。

別府市は港町ということもあり、古くより域外から人が流入し発展してきました。また、2000年には立命館アジア太平洋大学が開学することで、人口に対する外国人比率が非常に高くなり、一層多様性に富んだ街となりました。その個性の強い別府の中でひととき異彩を放つイベントとして「ベップ・アート・マンス」があります。

「ベップ・アート・マンス」は混浴温泉世界実行委員会が主催となり、文化・芸術にまつわる活動を幅広く募る登録型の市民文化祭です。昨年は123のプログラムが開催され、展示会やダンス、音楽、ワークショップなどが別府市内の各所で開かれ、街を彩り盛り上げました。

## ▼過去のベップ・アート・マンスの様子



10周年

### ベップ・アート・マンス 2019

別府町じゅう文化祭。町を歩けばいろんなアートに出会えます。  
2019.9.21.→11.10. 会場:別府市内各所

今年123プログラム

パワフルなダンスパフォーマンス  
おとこも楽しめるアートワークショップ  
おとこも楽しめるアートワークショップ  
おとこも楽しめるアートワークショップ

プログラムの中身や申し込みは <http://www.bepptmonth.com>

▲昨年度のベップ・アート・マンス パンフレット

11回目の開催となる今回は2020年12月12日(土)～2021年1月31日(日)の開催です。今年は、別府市内の会場の開催するプログラムだけでなく、オンライン上の企画も募集しており、いつもと一味違う企画に出会えるのではと楽しみです。皆さんもぜひ開催期間中に別府に足を運んでもらい別府のアートに触れてみてはいかがでしょうか。観るだけでは物足りないという方はぜひ企画者として応募を!! 【募集期間：9月1日(火)～9月30日(水)】



また、「ベップ・アート・マンス」と同時に混浴温泉世界実行委員が「in BEPPU」という芸術祭を開催します。「in BEPPU」は国際的に活躍するアーティストを別府に招聘し、地域を活かしたアートプロジェクトを実現する個展形式の芸術祭です。

2016年は「目」、2017年は西野達、2018年はアニッシュ・カプーア、2019年は関口光太郎を招聘しており、第5回目となる本年は、音楽、美術、舞台芸術など分野を軽やかに横断しながら活躍するアーティスト・梅田哲也を招聘することが発表されています。今回のプロジェクトでは、複数エリアを長期的に展開する回遊型のプロジェクトを模索しているとのこと、とても楽しみです。こちらもぜひ皆さん足を運んでみてください。

「ベップ・アート・マンス」、「in BEPPU」の詳細につきましては混浴温泉世界実行委員会事務局のNPO法人BEPPU PROJECTにお問い合わせください。

【混浴温泉世界実行委員会 事務局】

T E L : 0977-22-3560 / FAX : 0977-75-7012

MAIL : info@inbeppu.com

最後になりましたが、別府を単なる温泉地に止めず、アートという観点から街の魅力づくりと発信に尽力し続けるNPO法人BEPPU PROJECTの存在は、別府にとってとても大きな存在だとつくづく感じる今日この頃です。



撮影：Bea Borgers



『A' tol / Atoll / Atall』東海岸大地藝術節 (台東台湾、2018年)

『梅田哲也 イン 別府』

【会期】

2020年12月12日(土)

～2021年3月14日(日)

【会場】

別府市内各所

【主催】

混浴温泉世界実行委員会



『りんご』札幌国際芸術祭 2017 (札幌市、2017年) 撮影：小牧寿里

# 我が街紹介

津久見支部 大村 正壽

津久見市のホームページによると、2020年（令和2年）7月末の津久見市の人口は16,893人とあります。

津久見市の人口が一番多かったのは1960年（昭和35年）の国勢調査で37,164人となっています。

60年間で半分以下の45.5%になりました。

また、津久見市の2015年（平成27年）の同調査をもとに60歳以上の人口の割合を計算してみると49%となります。

うーん「我が街」津久見は人口減と高齢化が進んでいる…

でも、かつて津久見高校野球部が甲子園に出場した試合の放送の時はバスしか市内を走っていなかった程、テレビの前で市民を挙げて応援をしていました。

試合放送中の津久見の紹介で「**津久見市は一方は海で三方を山で囲まれ、セメントとみかんの町です。津久見市には津久見高校一校です。**」と放送をされていたのを思い出します。

そうです、「我が街」には国内屈指の良質で豊富な石灰石とリアス式海岸の特有の海岸部が急に深くなる天然の良港で、大型船が着岸できるためセメントや石灰石の出荷に適しています。

加えて山の幸と海の幸があります。

それでは「我が街」の自然と市民や各種団体、行政の取り組みの一部をご紹介します。

市最大の催し「**つくみ港祭り 納涼花火大会**」は尺玉の連発、最後の仕掛花火は見応えがあります。



県内外から多くの方がお見えになります。

臨時列車の増発、深夜まで続く車の渋滞は人気の高さが窺われます。

2020年（令和2年）は新型コロナの感染を防ぐため、中止になりました。

「**津久見扇子踊り大会**」は約450年前から伝わっています。扇子が回っている様に見え、弓を引く仕草など美しさと強さを感じる踊りです。



「**ふるさと振興祭**」は各種団体がテントに出店して津久見の郷土料理や特産品の販売、日頃の活動のPR。

商業・農業・漁業・鉱業・福祉関係等多岐にわたって出店しています。

餅まき、花や苗木の無料配布、鉱山見学も行われ、開催中は老若男女で賑わっています。

建築士会津久見支部も毎年参加して「親子で作る木工コーナー」や「建築士のPR」等を行っています。



「つくみイルカ島」は平成23年4月に出来た施設。イルカの様々なショーはじめ、餌やりや夏場はイルカと一緒に泳ぐ、体験型レジャー施設です。



「宗麟公園」は戦国時代に活躍した、大友宗麟のお墓のある公園です。

津久見市は宗麟終焉の地です。

お墓は2つあり、1つは江戸時代に旧家臣の末裔が建てたものと昭和52年に建築家の磯崎新氏が設計したキリスト教式の墓碑があります。

樹齢百年を超える杉林の中にあり、落ち着いた雰囲気です。



「保戸島夏祭り」は保戸島の中腹にある加茂神社のお祭りです。神社から神輿を浜まで長い階段と細い道を担いで降ろし、浜で神事を執り行います。神事後、男たちが神輿を担いで島の端から端へと担いで回ります。その時には伝わってきた歌を順番に歌います。ハイライトは担いだまま海に入っていく神輿を揺すりながら海に浸かります。その後も狭い道と長い階段を登って神社へ帰っていきます。島の男たちの勇壮な祭りです。

出店もあり、最終日は花火も打ち上げられ島の出

身者をはじめ多くの来訪者で賑わいます。



「四浦半島の河津桜」は河津桜約5,000本が点在していると言われています。素晴らしいのはこの河津桜は15年ほど前から住民の皆さんが中心となり、苗木を植えてきた事です。今では大分県内最大の河津桜名所と言われています。河津桜は2月上旬に開花がはじまり、中旬から下旬に見頃となります。リアス式の海岸とピンク色の河津桜は観光客を魅了します。



「青江ダム公園」はソメイヨシノを公園に植樹し、周りの山にはヤマザクラが咲きます。

春になると2つの桜が美しさを競います。



「津久見みかん」は国の天然記念物に指定されている樹齢850年以上の「尾崎小ミカン先祖木」があり日本一の古木と言われています。私が子どもの頃に比べれば品種が大変多くなり、知らない品種も沢山あります。ハウスミカンを含めれば一年中何かの品種のミカンがあるのではないかと思います。



「津久見ひゅうが丼」は保戸島の漁師が遠洋漁業で食べていたと言われています。マグロの赤身の切り身にゴマ、しょうゆ、砂糖とネギ、生姜等の薬味を混ぜて熱いご飯にのせて頂く料理。多くの津久見の飲食店で食べることが出来ます。家庭料理として作る事もあります。



「津久見モイカフェスタ」は漁師・漁協・料理人が一体となって開催されます。モイカは甘みと食感を楽しめます。



「つくみ軽トラ市」は軽トラの荷台に商品を展示して市中心部で野菜、魚介類、軽食、雑貨、なんと軽トラまで販売します。年二回で今まで四回開催されました。参加店舗（軽トラ）は50店前後で多くの客で賑わっています。

まだ書き足りない事も、私の知らない事も沢山あります。

ひとまず終わりたいと思います。

(写真の一部は津久見市観光協会より)





# マーボの旅先日記 その13



会長 井上正文

## 「津軽の歴史・文化を訪ねて」

青森県は大きくいうと、津軽エリア、南部エリア、下北エリアに三分されている。青森市あたりを境に西側が津軽エリア、東側が南部エリアに別れています。南部エリアは岩手県の中北部にも跨っています。聞きところによれば、この両藩は古い昔から必ずしも良好な関係であったわけではないそうです。津軽藩藩祖の津軽為信は天下の趨勢をよく見極めていて、南部氏から独立を果たす、豊臣秀吉に臣従し、お家と領土を守りました。関ヶ原の合戦でも先を見通して徳川に味方し、戊辰戦争でも先見性を発揮し、奥州諸藩がこぞって徳川に味方する中、列藩同盟を脱退し、新政府軍として戦った歴史があります。南部の人は津軽を裏切り者というそうですが、津軽は中央から遠く離れていたけれど、情報を集め、時代を読んでつねに行動したからこそ、今日の弘前の繁栄につながったということらしい。

そういう歴史・建築・文化に富んだ津軽地方を最近、2度に渡って訪れる機会があったので、紹介させていただきます。津軽藩主の居城であった、弘前城は全国に12城ある現存天守のひとつで、国重要文化財に指定されています。元々、この天守閣はお濠沿いの城壁近くにありましたが、城壁の痛みが進んだため、曳屋で城壁近くから77m移動させ、城壁の補修・補強工事を実施予定だそうです。城壁工事が終了後は元の位置に曳屋で戻すとか。



写真1 移動中の「弘前城」

私が訪れた時は、最初の曳屋が終了したタイミングで、天守閣の移動という前代未聞のタイミングに遭遇できたラッキーでした。地元には敬意を表して、日本酒は豊杯と田酒を頂きました。肴は、「みずのお浸し」(写真2)、「ホタテの味噌煮込み」、「イカとホタテのミンチ揚げ」という地元産を頂きました。流石に「豊杯・純米吟醸」は旨いお酒でした。「みず」は、こちらでは珍しくもないようですが、山菜の一種で少し糸を引く感じで、美味でした。



写真2 山菜「みず」

弘前市から少し北に向かうと、金木町に文豪・太宰治が生まれ育った、生家・斜陽館があります。



写真3 太宰治の生家「斜陽館」

「斜陽館」は、とてつもなく大きな建物です。一部は銀行としても使われていたようです。太宰の父は青森県でも第4位の資産家だったとか。半端ないお坊っちゃまだったんですね。ここ金木町あたりは、

津軽三味線の本場でもあり、津軽三味線会館で迫力満点の本物の津軽三味線の演奏（「津軽じょんから節」など）を生で楽しむことができました。

津軽市から少し、東に移動すると重要伝統的建造物群保存地区でもある黒石の町並みがあります。



写真4 伝建地区「黒石」の町並み

「こみせ」と言われる雪避けの通路が伝統的な商家を繋いでいます。落ち着いた町並みは、とても魅力的でした。



写真5 「こみせ」で繋がる黒石の町並み

黒石からさらに青森市へ移動すると、古代遺跡で有名な「三内丸山遺跡」を訪れることができます。少しだけ縄文人の心持ちにも浸れました。ここでは

古代人が当時、どんな生活を営んでいたかが遺跡から伺い知ることができます。



写真6 「三内丸山遺跡」

このように、津軽地方は、歴史・文化・日本酒・天然食材と魅力的な文物が目白押しです。また、桜のころを狙って、弘前城を訪れてみるのも一興かと思えます。



# 事務局だより

■「新型コロナウイルス感染症関連情報」について  
連合会のHPに以下の内容が掲載されております。  
ご覧ください。

1. 各種講演会に関する情報
2. 建築士試験・建築士制度に関する情報
3. 各団体等への要請
4. 国土交通省の対応
5. 関連情報

## ■委員会活動報告及び予定

### 防災委員会

#### <第1回>

8月28日(金) アートプラザ研修室

1. 令和2年7月豪雨対応経過について  
・大分市八幡、日田市天ヶ瀬、由布市湯平への対応
2. 上記を踏まえた今後の対応について
3. 本年度の応急危険度判定研修会について
4. 本年度の被害認定調査研修会について
5. 令和2年7月豪雨の災害対応活動報告

### 調査研究委員会

#### 1. 「おおいた木造塾」について

##### <第1回>

7月25日(土) コンパルホール視聴覚室

○科目1「改正建築物省エネ法研修会」WEB講習

##### <第2回>

8月8日(土) アートプラザ研修室

○科目2「地盤・基礎」

1. 小規模建築物を対象とした地盤・基礎  
講師 豊國建設(株) 地盤調査部 部長  
長尾順一氏
2. 地質調査の判断と小規模建築物の基礎工設計  
講師 (有)ケイシン設計 代表取締役  
山本伸二氏

##### <第3回>

令和2年9月12日(土) 大分センチュリーホテル

○科目3「木造全般」

記念講演「木造よもやま話」日本文理大学  
教授 井上正文氏(本会会長)

・木造建築研究会との共催事業

## ■事務局からのお知らせ

### 案内1

#### 「建築士の集い 大分大会」について

来年度に予定されております「建築士の集い 大分大会」が令和3年8月21日(土)に、ホルトホール大分にて開催されることに決まりました。青年女性委員会と実行委員会にて準備を始めました。今後会員の皆様へ、開催に向けてのご協力をお願いすることがありますので、よろしくお願いたします。

### 案内2

#### 「おおいた建築セミナー in 姫島」について

本年、令和2年9月26日(土)に東国東郡姫島村にて開催予定でありました建築セミナーは、延期となりましたのでお知らせします。

### 案内3

#### 「建築士定期講習」開催について

これからの講習日程は、以下のとおりです。

○日 時：令和2年12月17日(木)

受付窓口：建築士事務所協会

受付：10月1日(木)～定員次第

○日 時：令和3年1月15日(金)

受付窓口：建築士事務所協会

受付：11月4日(水)～定員次第

○日 時：令和3年2月3日(水)

受付窓口：建築士会

受付：12月1日(火)～定員次第

○日 時：令和3年3月2日(火)

受付窓口：建築士会

受付：12月1日(火)～定員次第

※場所はすべて大分職業訓練センターです。

詳細は、(公財)建築技術教育普及センターHPをご覧ください。WEBからでも申込できます。

※タイミングによっては、既に定員に達している会場もありますので、ご注意ください。

建築士事務所所属の建築士の皆様は、定期講習を受講期限内に受講してください。

#### 案内4

##### 「監理技術者講習」について

(監理技術者以外の方も受講可能)

大分県建築士会では「毎月第2水曜日」に建築工事に特化した内容で「監理技術者講習」を開催しています。特に、一級建築士、1級建築施工管理技士、1級電気工事施工管理技士、1級管工事施工管理技士等の「建築工事の分野で活躍されている監理技術者」にとりましては、実務に役立つ充実した内容のテキストを使用して講義を行います。CPD6単位が付与されます。

<講習会日程>

- 「毎月第2水曜日」に開催します。
- 時間 8:50~16:40〔受付8:30開始〕  
※8:45~8:50の5分間に講習の運営説明があります。
- 会場：(公社)大分県建築士会会議室
- 形式：DVD講習
- 定員：各回5名程度
- 受講料：WEB申込 9,500円  
窓口・郵送申込10,000円

※受講申し込みは日本建築士会連合会HPよりお申込ください。

#### 案内5

##### 「既存住宅状況調査技術者講習(更新・新規)」の開催について~更新講習スタート!

改正宅建法の重要事項説明の既存住宅状況調査をするには、この講習会を修了し、登録されることが必要です。

※更新講習がスタートします。

##### 【更新講習】

- 開催① 令和2年10月21日(水)
- 開催② 令和3年1月20日(水)
- 時間：受付13時~講習13時40分~16時30分
- 定員：各140名(申込受付順、定員に達し次第締切)
- 会場：①②とも 大分県教育会館 多目的ホール
- 受講者：国土交通省の既存住宅状況調査技術者講習制度の講習を修了した既存住宅状況調査技術者  
※他団体で既存住宅状況調査技術者の資格を取得された方も受講できます。  
※受講時点で、既存住宅状況調査技術者の資格が有効期限内である方に限ります。

受講料：17,600円【WEB申込：17,000円】

(税込、テキスト・修了証明書交付費用・登録料含む)

##### 【新規講習】

- 開催：令和2年11月18日(水)
- 時間：受付9時~講習9時40分~16時50分
- 定員：20名(申込受付順、定員に達し次第修了)
- 会場：大分職業訓練センター 303講義室
- 受講者：建築士(一級、二級、木造)が対象
- 受講料：22,000円【WEB申込：21,450円】

(税込、テキスト・修了証明書交付費用・登録料含む)

※申込方法等詳細は、(公財)日本建築士会連合会のHPをご覧ください。WEBからでも申し込みができますので、そちらもご利用ください。

#### 案内6

##### 「増改築相談員資格取得研修会」開催について

- 日時：令和2年11月10日(火) 8:30~17:30  
(新規受付 8:00~ 更新/再登録受付 12:30~)
- 場所：大分職業訓練センターもしくは、  
大分県教育会館(予定)
- 受講料：新規 25,000円 更新 16,000円
- ※申込方法その他の詳細は、事務局へご連絡ください。097-532-6607

#### 案内7

##### 「各種契約書類及び契約約款」の改訂版の発刊について

改正民法等の改正を踏まえた改正版(令和2年4月改正)が発刊されております。詳細は事務局までお問合せください。

#### 報告1

##### 「第1回理事会」について

令和2年5月27日(水)に、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため電磁的記録により開催されました。内容については以下のとおりです。

1. 令和元年度事業報告及び収支決算について
2. 定款第29条第2項の重要な使用人(事務局長)の選任について
3. 令和2年度理事及び監事候補者選考状況の報告について



## 報告2

### 「通常総会」について

令和2年6月19日(金)に大分市コンパルホール多目的ホールにおいて次の内容について開催されました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、出席者を絞り込んで小規模な開催としました。

1. 令和元年度事業報告について
2. 令和2年度事業計画及び収支予算について
3. 定款第29条の重要な使用人（事務局長）の就任について
4. 令和元年度収支決算について
5. 理事及び監事の選任について

## 報告3

### 「第2回理事会」について

令和2年6月19日(金)に大分市コンパルホール309会議室において通常総会開催の後、次の内容について開催されました。

1. 令和2年度業務執行役委員の選任について
2. 顧問委嘱の承認について
3. 新委員会委員の選任について

## 報告4

### 「第1回支部長・支部事務局員・委員長合同会議」について

令和2年7月22日(水)にコンパルホール多目的ホールにおいて次の内容について開催されました。

1. 支部からの質疑・協議事項について
2. 公益事業の提案と事例の発表について
3. 本年度林業振興関係の事業等について
4. 報告事項について

## 会務行事案内

【11月～3月】

### 11月

- 10日(火) 増改築相談員研修
- 11日(水) 監理技術者講習
- 14日(土) おおいた木造塾
- 18日(水) 既存住宅状況調査技術者講習（新規）

### 12月

- 9日(水) 監理技術者講習

### 令和3年1月

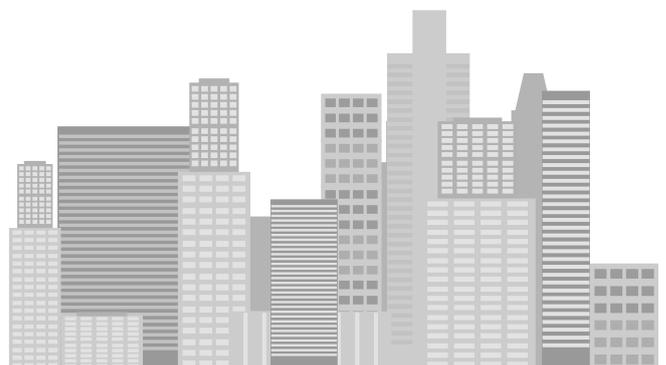
- 1月～3月 会員増強特別期間
- 13日(水) 監理技術者講習
- 15日(金) 建築士定期講習
- 20日(水) 既存住宅状況調査技術者講習（更新）

### 2月

- 3日(水) 建築士定期講習
- 10日(水) 監理技術者講習
- 21日(日) 空き家相談会

### 3月

- 2日(火) 建築士定期講習
- 10日(水) 監理技術者講習



#### 広報委員

委員長 長 宮崎 隆博  
委員 員 山本 健太郎  
〈大分〉 清末 幸生  
〈高田〉 後藤 悟  
〈大分〉 竹宮 浩一郎  
〈別府〉 志賀 智昭  
〈佐伯〉 佐藤 敏孝  
〈日田〉 日高 雄介  
〈中津〉

#### 編集部会

担当常務理事 宮崎 隆博  
部会長 長 高田 憲二  
部員 員 高橋 大介  
〈大分〉 丹生 孝太  
〈大分〉 小山 秀輝  
〈別府〉 佐藤 暢彦  
〈臼杵〉 竹田 光徳  
〈津久見〉 長田 孝治  
〈佐伯〉 井上 雅順  
〈佐賀関〉 伊東 勇治  
〈豊後野〉 伊東 政博  
〈竹田〉 後藤 聖和  
〈玖珠〉 熊谷 高則  
〈日田〉 日高 雄介  
〈中津〉 古市 憲司  
〈宇佐〉

建築士おおいた

2020.10 No. 125

(非売品)

令和2年10月27日 印刷

令和2年10月31日 発行

編集／発行所

公益社団法人

大分県建築士会

〒870-0045

大分市城崎町1-3-31 富士火災大分ビル3F

TEL 097-532-6607

FAX 097-532-6635

印刷所／いづみ印刷株式会社

大分市高江西1丁目4323番25号 TEL (097) 535-8655

# 建築士

# おおいた

本・支部名	〒	事務局所在地	TEL
高 田	879-0625	豊後高田市水取 334 番地 2	0978-22-2216
国 東	873-0503	国東市国東町安国寺 718	0978-72-2887
別 府	874-0919	別府市石垣東 1 丁目 9 番 31 号 (株)幸建設内	0977-23-6231
本部・大分	870-0045	大分市城崎町 1-3-31 富士火災大分ビル 3F	097-532-6607
佐賀関	879-2201	大分市佐賀関 4-3341-4 (株)セキ土建内	097-575-1120
臼 杵	875-0065	臼杵市大字家野 576 番地の 1 春建築設計室内	090-6779-7057
津久見	879-2442	津久見市港町 7-22 一級建築士事務所 たかせ ao 内	0972-82-1203
佐 伯	876-0833	佐伯市池船町 19-14	0972-22-5008
豊後大野	879-7111	豊後大野市三重町赤嶺 1922-1 2F 高野建設一級建築士事務所内	0974-22-6606
竹 田	878-0026	竹田市大字飛田川 1618-6	0974-62-3711
玖 珠	879-4632	玖珠郡九重町松木 4415-2 藤原工務店内	0973-76-3999
日 田	877-0026	日田市田島本町 4-1 野村一級建築設計事務所内	0973-24-6022
中 津	871-0024	中津市中央町 1-5-24 中津建築会館内	0979-24-3597
宇 佐	879-0453	宇佐市上田 931-3 宇佐建設会館内	0978-33-3395
本 部	<a href="http://www.oita-shikai.or.jp/">http://www.oita-shikai.or.jp/</a>		

会員増強にご協力を！

～会員二人で、一人の入会勧誘を～



公益社団法人 大分県建築士会

2020 NO 125